

Platforms

巨大化・複雑化する情報システムの課題を解決

事業戦略

インターネットの急速な普及とともに、ITを活用した情報システムは新たな時代に入りました。現在では複数のシステムが個別の業務を分担し、結合する形態になっています。例えば、会計や生産管理などの業務の機能を盛り込んだERPのシステムを中核にして、取引先とのやりとりを高度化するSCMのシステムと、顧客対応力を強化するCRMのシステムを結合した統合企業情報システムが一般的になってきました。このようにあらゆる業務システムが相互に結合し、他の企業や顧客とネットワークを介して24時間オンラインで取引を行うようになった結果、システムが巨大化・複雑化し、システムの変更・追加やシステムの安定的な運用・維持には、高度なスキルが要求されるようになり、お客様の負担が増大してきました。

そこで、富士通グループは、こうした情報システムを取り巻く変化にいち早く着目し、巨大化・複雑化する情報システムの課題を解決する新しいIT基盤を「TRIOLE」としてまとめ、2003年度はこれを軸に事業を展開します。「TRIOLE」は、オープン環境のシステム構築・運用において、お客様自らが製品の選択とそれらの間の整合性の確認にわずらわされることのないよう、富士通グループが他社製品を含めた最適な製品を選択し、システムとしての整合性をとった形に統合して提供するものです。特に三つのポイントに注力して事業を展開してまいります。一点目は、社会インフラ化したネットワーク環境のもと、社内・社外の様々なシステムの連携を可能とし、それらのシステムを携帯電話やPDAを含む多様な端末から容易に利用できるようにすることです。二点目は多数の機器により構成されたシステムを効率的かつ安定して運用することです。三点目は新たなシステムの短期構築と必要に応じた拡張を可能にすることです。2003年度は、このIT基盤「TRIOLE」とそれを構成する付加価値の高い製品を提供に力を入れてまいります。



携帯電話
FOMA F2051



ノートパソコン
FMV-BIBLO



デスクトップパソコン
FMV-DESKPOWER



商品別の事業戦略

- IT基盤「TRIOLE」の中核であるサーバ製品については、従来のメインフレーム、UNIX、Windowsベースのサーバに加え、Linuxをベースとするサーバを事業の新たな柱として提供してまいります。既にLinuxは、Webサーバやメールサーバなどで利用されていますが、今後は用途を拡大し、小規模から大規模まで幅広いシステム構築に対応できる製品を提供してまいります。また、大量のデータの保管やバックアップなどを行うストレージシステムも、「TRIOLE」の重要な構成要素として、事業を強化してまいります。
- パソコン事業については、引き続きSCMを活用して、精度の高い需要予測により適正な生産を行うとともに、斬新なデザインや使い勝手のよい機能を盛り込んだ製品の提供を行ってまいります。
- 携帯電話端末事業では、普及が見込まれる第三世代（3G）携帯電話端末、カメラ付携帯電話端末や特定の購買層を対象とした特色ある端末などに力を入れてまいります。
- 通信事業については、光伝送（フォトニック）事業、第三世代（3G）モバイル通信インフラを中心とするモバイル事業、IPネットワーク事業を中核に、競争力のある製品の提供と、アライアンスの推進によるビジネスの効率化を進めてまいります。

まずフォトニック事業については、IPネットワークに対応した製品の投入によりメトロ領域（都市内通信）での優位性をさらに高めるとともに、CATV市場などの新市場開拓に力を注ぎます。

モバイル事業については、NTTドコモ向けビジネスに注力するとともに、アルカテルとの合併会社「エポリウム」を軸に海外市場の開拓に努めてまいります。

IPネットワーク事業については、通信事業者向けネットワーク機器の開発で培った高度な技術力を生かし、成長が見込まれるVoIP、IP-VPNネットワーク向け製品の提供に力を入れてまいります。



IAサーバ
PRIMERGY



UNIXサーバ
PRIMEPOWER



WDMシステム
(光伝送システム)



IPルータ
GeoStream